

# 「注意と認知」研究会 第21回研究会プログラム

(2023年3月5日～7日 サイプレスホテル名古屋駅前) 2023.2.02版

受付		13:20-13:50	
5 SUN	感覚間協応と共感覚	14:00-14:30	1 感覚間協応が視覚入力タイミング知覚に与える影響 宇野究人(立教大学)
		14:30-15:00	2 個人の音象徴感覚が音と形の連合記憶に与える影響 鳴川紗(生理学研究所)
		15:00-15:30	3 概念は音と色を結ぶか?-カテゴリ知覚を用いた感覚間協応メカニズムの検討- 原島小也可(東京大学)
		15:30-16:00	4 垂直方向の視覚運動刺激がピッチ発声に与える影響 鈴木悠介(立命館大学)
	視覚と行為の相互作用	16:15-16:45	5 ジェンダーアイデンティティがアバターへの身体性に及ぼす影響に関するVR実験心理学研究 花鳥諒(筑波大学)
		16:45-17:15	6 動的矢印が接近と離隔行動に与える影響 光松秀倫(名古屋大学)
【特別講演】	17:30-18:30	24 サリエンスマップの注意研究への応用 吉田正俊(北海道大学)	
懇親会			
6 MON	知覚と認知一般(1)	9:15-9:45	7 輝度が正確な文字知覚に与える影響 松本純奈(安田女子大学)
		9:45-10:15	8 物体の「人化」と「蛇化」による心的回転の促進はメカニズムを共有しているか?—オンライン実験による相関研究— 武藤拓之(京都大学)
		10:15-10:45	9 好奇心は競合適応を調整する 蔵富恵(岐阜聖徳学園大学)
	知覚と認知一般(2)	11:00-11:30	10 認知的制御に生じる加齢の影響 石松一真(滋慶医療科学大学)
		11:30-12:00	11 若年成人期と中年期における習慣的運動と実行機能の関係性 澤井建人(筑波大学)
		12:00-12:30	12 就学前年のひらがな読字数と小学1年生の読字能力の関連:縦断コホート調査による検討 奥村安寿子(東京大学)
昼食(各自)・運営委員会			
知覚と認知一般(3)	14:30-15:00	13 会話相手が動きまわるとは社会的関係構築を促進するか 伊丸岡俊秀(金沢工業大学)	
	15:00-15:30	14 顔表情の情動価認識における画像呈示位置の影響 澤田玲子(京都大学)	
	15:30-16:00	15 顔知覚における単眼優位性の検討 中川令実(関西学院大学)	
魅力・情動・美感	16:15-16:45	16 脅威表情の意図的処理と後続情報処理の抑制の関連 馬詩怡(神戸大学)	
	16:45-17:15	17 顔魅力判断においてほころが注視と瞳孔径に与える影響 新美亮輔(新潟大学)	
オブジェクト認知と情景理解	17:15-17:45	18 周辺視野において色が情景認知に与える影響 大久保らな(東京大学)	
【特別企画】	18:00-18:30	25 ジオン理論:Irving Biederman先生を偲んで 横澤一彦(筑波学院大学)	
夕食(ホテル近くのお店を予約してあります。自由参加)			
7 TUE	注意や記憶の特性	9:15-9:45	19 視覚探索における潜在的メタコンテキストの学習 水野純平(京都大学)
		9:45-10:15	20 区切り枠によって分割された領域における課題非関連刺激からの注意の干渉効果 中島亮一(京都大学)
		10:15-10:45	21 顕著性モデルによる探索非対称性の文化差の検討 上田祥行(京都大学)
	知覚と認知一般(4)	11:00-11:30	22 環境の変化と探索履歴が不確実な視覚情報の探索の最適化に及ぼす影響 小林穂波(関西学院大学)
		11:30-12:00	23 課題非関連プローブ法による注意資源配分量の評価 武田裕司(産業技術総合研究所)